

## 2020年10月号へのご意見

### 教師の役割は「指導」から「支援」へ

主体的・協働的な学びに転換する中で、大切なのは教師の役割の変化だと思った。10月号の特別企画では、福井県立若狭高校が教師の姿勢を「指導」から「支援」へと転換している取り組みが紹介された。コロナ禍で生徒の不安が大きくなっている中、「支援」が大切な言葉として心に残った。愛知県・私立桜丘中学校・高校 齋藤聖也

### 「学習集団を育てる」という目標に共感

10月号の特集を読み、静岡県立御殿場高校の美那川雄一先生が掲げる、生徒が学びの場と経験を共有し、「学習集団を育てる」という目標に共感した。担当教科が自分と同じ大阪府・私立近畿大学附属高校・中学校の芝池宗克先生が指摘していた、生徒それぞれに必要な声かけをすることが一層必要になるという点は、今後意識していきたい。また、國學院大学の田村学教授が行った5人の教師の実践を交えた整理・解説は、本校でも教師間で共有すべき内容だと思った。

静岡県・沼津市立沼津高校 谷野公彦

### コロナ禍でもベストな授業を追求できる

自分もアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業を行ってきたが、コロナ禍で消極的になっていた。しかし、10月号の特集で各教師の実践を読み、生徒のことを考えれば、今の環境でもベストの形が見つけられることを教えてもらった。私も、自分の中でのベストを見つけれ

るように行動したい。 東京都立北園高校 根岸良和

### 生徒目線で具体的な行動目標に落とし込む

10月号の「新課程に向けて描く『学校教育デザイン』」で紹介された宮崎県立高鍋農業高校では、教育目標を教師目線で定義して掲げるだけでなく、生徒目線で具体的な行動目標にまで落とし込み、生徒に行動の変容を促していた。自分も、生徒目線で行動目標を設定していきたい。 栃木県立真岡工業高校 半田高史

### 指導ツールに生徒の意見を取り入れていきたい

10月号の「改良！指導ツール ビフォーアフター」で、改良会議実施校の富山県・私立片山学園中学校・高校が生徒の意見を取り入れながら指導ツールを改良したのは革新的だった。生徒が言っていた『「主観」をどんどん聞いてもらいたい』という思いを大切に、自校でもツールを改善していきたい。 千葉県・私立成田高校 佐藤杏奈

### 特性を持つ生徒への配慮の参考になった

担任・学年主任は、クラス運営・学年経営の中で、特性を持った生徒とその保護者に様々な配慮をしている。スクールカウンセラー等から研修を受けて特性の理解に努めているが、そのような状況からも、10月号の「これからの進路指導のための世の中トレンド解説」で取り上げられた「スペシャルニーズ」は、大変参考になった。

富山県 匿名希望



OFF SHOT

東京都八王子市にある創価大学と創価女子短期大学のキャンパスは、敷地内の桜花の道という場所が代表するように、たくさんの桜の樹々を有し、春の代名詞とも言える桜が見事に咲き誇る場所として、学生や教職員はもちろん、地元の方々にも愛されています。かなり立派な枝垂れ桜の樹もあります。それらの花々にエールを受けて入学をした春は、鮮やかな思い出かと思えます。今は冬を迎えたばかりで、花はもちろん、葉は散り、若芽も芽吹いていませんが、それでも来るべき咲く時を待ち、力を蓄えています。ちょうど今号の連載「SDGsの視点で見る大学の学び」の取材に応じてくれた2人の学生も、大学で学び、見識を広げ、社会の問題解決へ挑まんとする今は、写真の桜の樹々のような時期かもしれません。いつか咲き誇るその日を期待しています。自分らしく素晴らしい花を咲かせますように。(野村)



『VIEW21』高校版が  
電子ブックに  
なりました!

『VIEW21』高校版は2020年4月号から電子ブックでご覧いただけるようになりました。ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトでご確認ください。  
HOME → 教育情報 → 高校向け → 情報誌最新号

VIEW21 最新号

VIEW21 高校版 2021 2 月号

次号は2月15日発行(予定)

『VIEW21』高校版は年6回の発行です